

GRENE-Arctic

GRENE北極気候変動研究事業  
第2回特別セミナー



# 北極海航路の 持続的利用実現に向けて

最新研究成果発表と次の研究ステージへひきつぐものは

**参加者受付中**

日時：11月6日（金）

開場 10:00 開演 10:30

会場：東京海洋大学品川キャンパス 楽水会館

定員：先着順 150名 参加無料（定員になりしだい締め切ります）

ホームページで申込受付 <http://www.nipr.ac.jp/grene/>

主催 情報・システム研究機構国立極地研究所  
協力 東京海洋大学  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

GRENE 北極気候変動研究事業の北極海航路研究グループが、昨年に引き続いて特別セミナーを開催し、研究の進展を紹介します。今回は、非常に精密になった海水分布予測、海水減退期の航行におけるリスク評価、船体着氷、航行支援モデル、輸送シナリオなどについて、より実際の北極海航行を見据えた話題を提供します。さらに、北極海航路の次世代の課題を見据えた今後の研究テーマについても紹介します。

## 開会のご挨拶

### 第1部 研究総括と海水予測 (10:35 - 12:10)

- ◆研究課題の取組みと成果、展望 北極海航路輸送の現況と課題 研究チームの取組と成果  
山口 一／東京大学大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻・教授
- ◆海水予測への挑戦～ここまでできた予測モデル 長期、中期、短期予測への挑戦と実績  
木村 詞明／国立極地研究所(東京大学大学院新領域創成科学研究科)・特任研究員
- ◆海水状況モニタリング～より詳しく氷況を知る 衛星リモートセンシングによる海水厚の推定  
館山 一孝／北見工業大学工学部社会環境工学科・准教授

休憩・ポスターセッション

### 第2部 氷中航行性能と安全 (13:30 - 14:50)

- ◆海水減退期の航行におけるリスク評価  
金野 祥久／工学院大学工学部機械工学科・准教授
- ◆氷海船舶に働く氷荷重と氷中航行性能  
澤村 淳司／大阪大学大学院工学研究科・助教
- ◆氷海航行の現場から 実際の航行はどうなっている? 実際に現場が求める情報は?  
佐川 玄輝／株式会社ウェザーニューズ氷海気象チーム・チームリーダー
- ◆船体着氷を知る 船体着氷はどのように発生する? その対策は?  
尾関 俊浩／北海道教育大学札幌校・教授

休憩・ポスターセッション

### 第3部 航行支援 (15:20 - 16:20)

- ◆船舶レーダを用いた氷海中の最適航路選択  
高木 敏幸／釧路工業高等専門学校・教授
- ◆氷海の航行支援システム 最適航路支援モデルと北極海航路への適用  
山口 一／東京大学大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学専攻・教授  
中野佑哉／東京大学大学院新領域創成科学研究科
- ◆北極海航路輸送のシナリオと展望  
大塚 夏彦／北日本港湾コンサルタント株式会社・企画部長

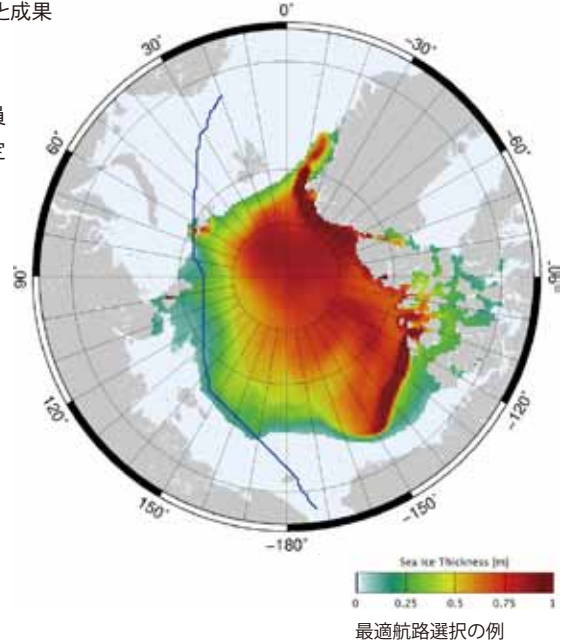
### 総合質疑 (16:20 - 16:50)

### 第4部 次の研究段階へ向かって (16:50 - 17:30)

- ◆海水予測における気象観測網の役割  
猪上 淳／国立極地研究所・准教授
- ◆北極海における波浪予測  
早稲田 卓爾／東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

## 閉会の辞

※プログラムは都合により変更する場合があります。



## 東京海洋大学品川キャンパス

東京都港区港南 4-5-7  
<http://www.kaiyodai.ac.jp/info/access/22417.html>  
楽水会館 <http://www.kaiyodai.ac.jp/info/37/38.html>

- ・JR線、京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分
- ・東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約15分
- ・りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り正門まで約20分



＝お問い合わせ先＝

国立極地研究所  
国際北極環境研究センター・企画チーム  
電話：042-512-0922